

第 1 2 回教育委員会定例会議事要録

詳細 教育総務部教育総務課 電話 0 3 - 3 9 8 1 - 1 1 4 1

附属機関又は 会議体の名称	教育委員会定例会	
事務局（担当課）	教育総務部教育総務課	
開催日時	平成 1 9 年 1 2 月 1 1 日 午後 2 時 0 0 分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	三神 和子（委員長）、松木 正一（委員長職務代理者）、 月岡 透、中島 章皓、日高 芳一（教育長）
	その他	中央図書館長、教育総務部長、教育総務課長、教育指導課長、 教育改革担当課長
	事務局	教育総務課庶務係長、教育総務課庶務係主事
公開の可否	公開 傍聴人数 0 人	
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 . 第 3 3 号議案 豊島区教育委員会の非常勤職員に関する規則 （平成 1 2 年豊島区教育委員会規則第 2 2 号）の一部改正に ついて2 . 報告事項 問題を抱える子供自立支援検討委員会の設置につ いて3 . 報告事項「教育ビジョン」の実施状況について4 . 報告事項 1 9 年度インフルエンザ様疾患による臨時休校措 置状況について	

審議経過

委員長)

第12回教育委員会定例会を始めます。本日の署名は中島委員と松木委員にお願いいたします。

(1) 第33号議案 豊島区教育委員会の非常勤職員に関する規則(平成12年豊島区教育委員会規則第22号)の一部改正について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見等いかがでしょうか。

委員)

参与の資格について、「高度な学識経験があり、委員会が適任と認める者」とありますが、抽象的すぎる気がします。もう少し具体的な文言になりませんか。

中央図書館長)

要綱の中で細かい規定を設ける考えです。文案ができあがりましたら、ご報告いたします。

委員長)

他によろしいですか。

(委員全員 異議なし)

(2) 報告事項第1号 問題を抱える子供の自立支援検討委員会の設置について

<教育指導課長 資料説明>

委員)

委員会のメンバーに副校長は入っていないのですか。

教育指導課長)

特段必要なときには副校長も参加することになりますが、基本的には学校代表として校長と生活指導の主幹を想定しています。

委員)

副校長にもよく説明しておく必要があると思います。

教育指導課長)

この委員会は親委員会でございますが、校長も小・中学校それぞれ代表して各1名ずつと考えております。委員会の成果については副校長会・校長会等で伝達していく予定です。

委員)

この委員会の設置には、昨年のいじめ自殺予告も関連しているのですか。

教育指導課長)

直接的な結びつきはありませんが、いじめや暴力行為、虐待等を含めて子どもが問題を

抱えて自立が阻害されているとの観点から、文部科学省もこの新たな事業を拡大しており、その背景には昨年のいじめ自殺予告の影響が少なからず働いているかと推測されます。

委員)

都内ではいくつの自治体がこの事業について申請したのでしょうか。

教育指導課長)

正式な数は把握しておりませんが、それほど多くの区市が選ばれたわけではないと思います。応募に際しては、いじめの早期発見・早期対応やチームアウル等の活動の取り組みを申請書に添付しましたので、その辺りが評価を受けたのではと考えております。

委員)

調査統計については、文部科学省からも似たようないじめの調査が来るわけですから、あまり先生方の負担にならないようお願いします。

また、未然防止や早期発見・早期対応がどれだけできるのかが大きな課題です。チームアウルが支援するにしても、最終的には教員の力量にかかってきます。作業部会の活動内容の中にケース検討委員会がありますが、一人一人が力をつける上でとても大切ですので、充実させてほしいと思います。

教育指導課長)

調査につきましては、従来から行っているアンケート以上に増やすことは現在考えておりません。学校側に負担にならないよう、アンケート内容の精査も検討していきたいと思っております。

チームアウルの活躍につきましては、今年度もさまざまな困難のケースに対応しており、現在も2校同時並行で学級支援等の活動を行っております。問題が複雑・深刻化し解決が難しい場合は、チームアウルによる支援のほか、作業部会が中心となり、虐待絡みであれば家庭支援センター、非行等が絡んでいれば警察も含めたケース対応を適宜行えるように機能を充実化させたいと考えています。

委員)

荒れた状態の中学校を想定すると、このレベルではやっていけないと思います。今は落ち着いていますし問題の傾向も違うでしょうが、生活指導部会や警察との連携はあるのですか。

教育指導課長)

生活指導主任会を毎月開いており、節目ごとに所轄の警察の少年係長をお呼びして情報交換を行っています。

委員)

非行の問題等で解決に向けた対応ができる利点もありますので、警察との連携をよく取ってほしいと思います。

教育指導課長)

学校現場での問題行動等への対応は、生活指導主任を中心とした学校組織が行いますので、地元の警察との信頼関係に基づいて対応できるように強化していきたいと思っております。

委員)

保護者への対応も課題に含めたほうがよいのではないのでしょうか。

教育指導課長)

実際に、子どもの問題に関して保護者の理解が得られにくい、又は保護者が不当要求行為を行うという状況に苦慮している学校がございますので、保護者への対応も含めて進めてまいります。今後は学校を守る上で、法律知識の提供等の法的支援についても検討していきたいと考えています。

委員長)

今言われているモンスターペアレンツと問題を抱える子どもとの関連はありますか。

教育指導課長)

単純にモンスターペアレンツの子どもは問題があると直結するものではありません。ただ、保護者が学校側に批判的な場合は、問題が複雑になり事態が深刻化する場合がありますので、問題解決にあたっては、保護者の理解が大きな要因を占めていると感じております。

委員長)

以上でよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(3) 報告事項第2号 報告事項「教育ビジョン」の実施状況について

<教育改革担当課長 資料説明>

委員長)

ご意見ご質問ありますでしょうか。

委員)

「大学との連携による理数教育の推進」は区の事業ですか、それとも学校で行っているのですか。

教育指導課長)

大学とのこれまでの連携は学校が独自に取り組んできたものです。先日、その実績をもとに六大学との包括協定を結びました。今後は教育委員会も入って更に活発に進めていく予定です。

委員)

「小・中学校一貫カリキュラムの開発」について、小学校では1校、中学校では3校と数が違っていましたが。

教育指導課長)

現在、小・中連携校として3組の学校を指定しておりますので、小学校の数字も3校になるはずなのですが、部活動体験や先生方の出前授業等の内容から、小学校では交流という発想から抜け切れていない部分があるのではないかと思います。こうしたギャップをとらえて小・中連携の趣旨を徹底していくことが、アンケートから見られる課題かと考えて

おります。

委員長)

中学校の「特別支援教室の設置、支援体制の確立」「人権教育の充実」についても、もっと重視していただきたいところです。

教育指導課長)

人権教育・道徳教育に関しましては、すべての学校が重要度Aに位置づけてほしいと思っておりますし、特別支援教室についてもこの結果を残念に感じております。このアンケートを一つの実績とし、全教職員の意識を向上するための指導と支援の充実を課題として受け止めていきたいと思っております。

教育改革担当課長)

学校ごとに重点のかけ方や取り組む年度の違いも当然ありますが、少なくとも学校一律の課題について、取り組みが表れていないものに関しましては、年度末に向けて中身を確認していきたいと考えております。

教育指導課長)

学校側にとっても、このアンケートについて、1年間の4分の3をどういう視点で教育ビジョンの実現に取り組んだかという振返りの機会とし、今後の改善に結びつけるという趣旨で活かしてほしいと思っております。

委員長)

以上でよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(4) 報告事項第3号 19年度インフルエンザ様疾患による臨時休校措置状況について

<教育総務部長 資料説明>

委員長)

何名以上の欠席があると学級閉鎖になるのですか。伝染性の高い場合は、早い段階で学級閉鎖を行うこともあるのでしょうか。

教育総務部長)

学校の教育活動において、伝染性の疾患が広まることのないように、2割程度の欠席を目安にしています。

教育指導課長)

学校運営課と教育指導課とで連携し、欠席が多数になった場合は、その数によって保健担当が学校医とも相談し、時間差登校や学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖とそれぞれの段階の判断を適宜行っていくこととなります。

委員長)

以上でよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(5) その他

平成 1 9 年第 4 回豊島区議会定例会一般質問答弁要旨

豊島区立小・中学校改築計画(素案)・豊島区立小・中学校の適正化第 2 次整備計画
(素案)施設用地検討委員会報告

(午後 4 時 0 0 分 閉会)